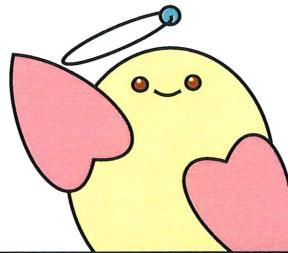


令和4年度

事業計画



上越市社協
マスコットキャラクター
「ぬくりん」

共に生き 共につくる 福祉社会を目指して
～いつまでも住み慣れた地域で、心豊かな健やかで生きがいのある生活を～



社会福祉法人 上越市社会福祉協議会

行動理念『あなたを独りにはしない』

基本方針

新型コロナウイルス感染症が拡大するようになって3年目となりました。この間、デルタ株から感染力が更に強力なオミクロン株の出現により、県内はもとより全国に拡大し、社会活動に多大なる影響を与えており、現在も市民の生活や経済活動は厳しい状況が続いている。その影響は社協も同様の状況にあり、介護保険事業及び地域福祉事業の実施に当たっては、サービスの低下を最小限にとどめるべく、人との接触には細心の注意を払いながらの事業を実施しているところです。このような状況下こそ職員一人ひとりがコロナに打ち勝っていく気概を持ち、社協が掲げる基本理念「共に生き共につくる福祉社会を目指して」及び行動理念「あなたを独りにはしない」を実践するとともに、常に地域住民に寄り添いながら、社協のネットワークを活かした地域住民を包括的に支える仕組みづくりが必要と考えているところです。

このような状況の中にはあっては、令和3年度に策定した「第3次運営・事業実施計画」に則り、計画的に事業を推進していくため、職員一丸となり、これまで以上に行政はもとより、福祉団体、町内会など様々な機関との連携・協働を進め、堅実に事業を実施していくかなければなりません。あわせて社会福祉法人制度改革を踏まえての、更なる経営強化を目指すとともに、地域状況の的確な把握を踏まえての地域自治区ごとの福祉活動の計画・実践、新たな住民福祉会の設置に積極的に取り組み、住民主体の地域福祉活動の拡充・拡大を図ります。

一方、介護事業所・施設の経営においては、新たに「きよさと福祉会との合併」を実施した中で効率の良い事業展開への見直しを行うとともに、既存施設の改修を行いつつ合理化を図るとともに、情報技術の飛躍的な進化を活用してのオンライン化やタブレットを用いた記録システムの導入などICTの活用を進めることで、事務や現場業務の合理化・効率化を図り事業の健全化に努めます。

当法人の業務を進めるうえで立ち返るべき基本理念の根本にあるのは、「愛」と「汗」です。愛ある仕事をやり通すこと、汗をかいて利用者、地域に貢献をしていくことが、地域福祉であり、介護・障害福祉サービスです。汗をかいて仕事をすることが、地域社会はもちろん、介護・障害福祉サービスを必要とする人に「幸せ」を実感してもらうことにつながります。それが私たちの仕事のやりがいであり「自信と誇り」をもって地域社会に関わっていくことができるのです。

令和4年度は全職員が気持ちを一つに、あらためて基本理念・行動理念の実践に取り組んで地域に貢献していきます。

重点目標

1. 組織内のルール遵守による健全で効率的な法人運営
2. 地域ニーズに応じた持続性のある地域福祉活動の推進
3. 福祉サービス利用者の生活の質向上と個別支援の実践

重点項目・実施内容

誰からも信頼される社協づくり

1. 地域をつなぐ社会福祉協議会としての社会的責任・役割を果たすための機能強化

(1) 法人管理体制の強化

項目		内容	目標
①	内部監査制度の充実	・内部監査計画に基づき監査を実施するとともに、監査における指摘事項の改善状況を確認する是正監査を実施し、業務手順の明確化を図る。	内部監査 4件実施。

項目		内容	目標
②	地域福祉拠点モデルの試行的実施に向けた取組	・検討を進めている「地域福祉拠点モデル(案)」について、事業面と体制面の整理を行い、令和 5 年度からのモデル展開に向けて取組を進める。	令和 5 年度からのモデル実施に向けた課題の整理、対応方法の明確化。

項目		内容	目標
③	安全衛生向上への取組	・安全衛生に対する職員の意識を高め、各所属において意欲的な取り組みの実践を図るため、新たな表彰制度を設ける。	「月間重点取組事項」の啓発、実施状況に応じ、上半期、下半期、年度での表彰を実施。

(2) 情報発信の強化および情報管理体制の強化

項目		内容	目標
①	効果的な情報発信と情報の活用	・昨年度実施した「社協だよりアンケート調査」の分析により、内容及び発信方法の見直しを行う。 ・ホームページでのブログ掲載に向けた課題整理を行い、体制や手順等の運用に関する検討を進める。	・見直しによる広報発信の実施。 ・ブログ掲載の運用に向けた体制、手順等の整理。

項目		内容	目標
②	情報システムの内部統制	・「IT体制チェックリスト」により現行の体制を確認するとともに、項目ごとに必要な体制の整備を行う。 ・「コンピュータ情報システムの運用管理に関する規程」に基づき、必要に応じてセキュリティに関する内規を整備し、情報セキュリティ対策の強化を図る。	・「IT体制チェックリスト」による体制整備。 ・必要に応じたセキュリティ内規の整備。

(3)危機管理体制の強化

項目	内容	目標
① 災害時の対応力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア養成講座を実施し、災害ボランティアセンター支援登録者の確保に努める。 ・災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施する。 	上越市・妙高市の登録者 60 人。

項目	内容	目標
② リスクに応じた事業継続計画(BCP)の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクに応じた法人全体及び事業所ごとの事業継続計画(BCP)を策定するとともに、想定訓練を実施する。 	法人全体及び事業所ごとの事業継続計画(BCP)策定。

2. 確実に事業を実施していくための健全な法人運営

(1)適正な財務運営

項目	内容	目標
① 新規 財務計画の適正な進捗管理	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕、固定資産入替計画に基づく進捗管理を実施するとともに、地域の将来を見据えた施設展開を図るため、基礎資料となる施設評価表の検討、作成を進める。 	施設評価表の作成。

項目	内容	目標
② 多角的な財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・社協会費の依頼・納入時期について、法人全体で統一化を図るとともに、社協会員の増強・社協会費納入率の向上を図るため、社協会費の使途に関する発信を強化する。 また、賛助会員(団体・企業)の確保に向けた具体的な取組を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全支所の社協会費依頼・納入時期の統一 ・賛助会員(団体・企業)確保に向けた取組の実践。

(2)人材の確保と活用

項目	内容	目標
① 雇用計画に基づく人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に法人説明会やインターンシップ受入れを計画するとともに就職イベントへの参加や就職サイトの活用により学生や求職者へ情報を提供していく。 ・年度内 2 回の採用試験実施及び試験内容の見直しにより、将来を担う学卒者の確保に努める。 ・外国人留学生の採用に伴う環境や対応方法等の準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度新卒採用者 5 名。既卒者による専門職の確保。 ・事業形態に応じた介護現場職員の確保。

項目		内容	目標
②	新規 人事評価制度の導入に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> 働き方や役割に応じた待遇や人材育成につなげるため、人事評価制度の導入に向けて外部機関による支援も得ながら検討を進める。 	人事評価制度導入に向けた制度設計の検討。

3. 社会福祉協議会職員としての使命・役割を遂行するための人材育成

(1)人材育成体制の充実

項目		内容	目標
①	人材育成基本方針に基づく取組の実践	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に策定した人材育成基本方針の職員周知を図るとともに、「目指すべき職員像」に向けて育成面談や研修会を計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 方針の周知徹底、周知状況の確認。 OJTによる指導に関する研修の実施。

(2)人材育成研修の強化

項目		内容	目標
①	階層別研修の実施	外部講師による「管理職」「参事・係長」「主任」の階層別研修を実施する。	各階層同時に、5月から9月まで連続研修実施。

項目		内容	目標
②	専門研修・課題別研修の実施	人材育成基本方針の「目指すべき職員像に必要な要素」を身に着けるため、必要な内部研修の実施及び外部研修へ参加する。	部門や職種ごとに実施。

住民主体による地域福祉の推進・拡充

1. 一人ひとりを大切にする地域づくり

(1)地域アセスメントの強化

項目		内容	目標
①	住民懇談会の実施	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染防止の対策を図りながら、ニーズ把握や社協事業の周知等を目的に懇談会を開催する。 「ふれあい支え合いマップ」をツールとして地域生活課題の把握等に有効活用する。 	住民懇談会を年50回実施。

項目	内容	目標
② 「地域アセスメントシート」の導入	・地域の概要や社会資源、福祉事業・活動の内容等を整理し分析する「地域アセスメントシート」を活用したモデル実施を行う。	4 支所でモデル実施。

(2)お互いを認め合える福祉教育の推進

項目	内容	目標
① 保育園・幼稚園・小中学校・高等学校への福祉教育の実施	・「福祉教育プログラム」を活用し、小学校、中学校、高校と子どもの成長に合わせて福祉への理解を深める。	上越支所延 32 回、13 支所各延 6 回の実施。

項目	内容	目標
② 啓発イベントの開催及び地域イベントへの参加	・住民の福祉に対する意識を高めるため、全市的なイベントを 1 回開催する。各区単位で実施するイベントは方向性の検証を図る。 ・地域や町内等のイベントに参加・協力し、福祉に関するチラシ等の配布や掲示板の設置など工夫を凝らした取組により、福祉に関する周知・啓発を図る。	・全市的なイベント 1 回開催 ・各区単位でのイベント実施検証。

2. 地域を担う様々な人材が溢れる地域づくり

(1) 福祉活動の担い手の養成・育成と活動支援

項目	内容	目標
① 地域福祉活動に関するボランティア講座の実施	・福祉活動の担い手の発掘や養成、育成を進めるとともに、すでに地域で行われている活動の継続や活性化を図るためにボランティア講座を実施する。	上越支所延 4 回、13 支所延 2 回の実施。

項目	内容	目標
② ボランティア情報の発信	・「社協だより」や「支所だより」にボランティア情報のコーナーを設け、活動団体等の紹介やボランティア募集情報等を掲載し、発信していく。 ・ホームページを有効に活用し、タイムリーな更新により新しい情報を発信していく。	「社協だより」や「支所だより」にボランティア情報コーナーを設け発信。

(2) 担い手の活動意欲の向上

項目	内容	目標
① 地域福祉活動報告会を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・活動者同士がそれぞれの活動内容を理解することで仲間意識を持ち活動の継続が図れるよう、地域の活動団体(住民福祉会、振興会、まちづくり協議会等)との連携による地域ごとの福祉活動報告会を実施する。 ・報告会に参加した住民が地域で実践されている福祉活動を知ることにより、活動への参加や応援、支援につなげていく。 	各支所で年1回実施。

項目	内容	目標
② SNSの活用を含めた発信力向上研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で様々な福祉活動に取り組んでいる団体等が住民の共感や理解を得ながら活動を継続していくことが出来るよう、SNS等を活用し自ら情報を発信していくための研修会を開催する。 	発信力向上研修会を年1回以上実施。

3. それぞれの特色を活かして支え合いの活動がつながる地域づくり

(1) 持続性のある地域福祉活動の推進

項目	内容	目標
① 新規 上越市地域福祉活動計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は上越市地域福祉活動計画(計画期間令和1年～令和4年)の4年目となることから、令和5年度からの第2次上越市地域福祉活動計画を策定する。 	第2次上越市地域福祉活動計画の策定。

項目	内容	目標
② 地区地域福祉活動計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市地域福祉活動計画を実践していくため地域自治区を基本的な単位として、地域懇談会やアンケート調査等を実施して住民の声を聴き取りながら、個別の「地区地域福祉活動計画」を策定する。 	5 地域自治区での策定。

(2) 圏域に応じた福祉活動の推進

項目	内容	目標
① 住民福祉会の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治区を基本的な単位として、住民が主体的に独自性のある福祉活動を実践する基礎組織「住民福祉会」の普及に努める。 	6 地域自治区での設置。

項目	内容	目標
② 住民福祉会連絡会(仮称)の設置	・住民福祉会それぞれの活動内容の共有と住民の理解促進を図るため、住民福祉会連絡会(仮称)の設置を行う。	・住民福祉会連絡会(仮称)の設置又は、目的が達成されるよう活動報告会を開催。

(3)関係団体の主体的な活動のための支援

項目	内容	目標
① 団体事務局の移管に向けた取組	・13支所で事務局を担う各団体に対し、個別に当会の方針を説明し、事務局機能の分担及び移管についての協議を進める。	・遺族会は継続協議。 ・身体障害者団体、手をつなぐ育成会は新たに協議を実施。

利用者本位の福祉サービスの強化

1. つながりを深める支援体制の強化

(1)権利擁護支援体制の強化

項目	内容	目標
① 専門員体制の強化	・日常生活自立支援事業における支所での専門員配置に向けて、支所職員を対象とした専門員業務の研修会等を実施する。	支所職員を対象とした専門員研修会を年2回実施。

項目	内容	目標
② 法人後見事業の実施	・成年後見の必要性が見込まれることから、上越市で設置される中核機関の整備に協力するとともに受任件数の増を図る。	新規受任件数3件。 (総受任件数31件)

(2)相談支援体制の強化

項目	内容	目標
① 地域とのネットワーク強化	・地域ケア推進会議に参加し、地域の関係者や様々な社会資源とつながりを持つとともに、地域ニーズの把握に努める。 ・法人間の部門間連携を図りながら、相談支援体制の充実を図る。	地域ケア推進会議に各圏域で1回以上参加。

(3) 地域と連携した支援体制の強化

項目	内容	目標
① 介護者教室等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・介護等サービス利用者の家族や、地域住民を対象に介護教室や介護予防教室などを計画、実施する。 ・感染症対策等で参集できない場合も、「事業所だより」等を用いて情報提供を行っていく。 	各事業所で年1回以上地域活動を実践。

2. 個別ニーズに対応した専門性の向上

(1) 在宅福祉サービスの専門性の向上

項目	内容	目標
① ソーシャルワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体(総務、地域、介護、支所)の事例研究会を開催し、問題解決力の強化に取り組む。 	ブロック毎の事例研究会を開催。
② 障害支援の理解向上	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスに関する研修会の開催 ・強度行動障害の研修受講推進。 	障害福祉の理解を深め、職員の育成を図るため、研修会を年1回以上開催。
③ 新規 地域生活拠点体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点機能に求められている相談、緊急短期の受け入れが効果的に機能できるように相談事業所と複合施設が連携して取り組む。 ・上越市の地域生活拠点等機能強化事業を受託し、指定を受けた拠点間の連携強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急相談と緊急受け入れ体制の整備。 ・拠点間連携の体制構築。

(2) 福祉サービスの質向上の取組

項目	内容	目標
① 事業評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護事業所1事業所で福祉サービス第三者評価を受審する。 	受審内容の反映による訪問介護事業全体の質の向上。
② 新規 機能訓練の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援、重度化防止の効果を向上させるための科学的に裏付けられた介護を推進する。 	科学的介護情報システム「LIFE」の活用。

3. 地域ニーズを活かした福祉サービスの提供

(1) 運営状況の分析と把握

項目	内容	目標
① 予算実績会議の定期開催	<ul style="list-style-type: none"> ・予算実績会議を定期開催し、目標に向かう進捗状況の確認を行う。 ・管理者間の意見、情報交換の機会を確保し、管理者支援を行う。 	必要な事業改善に向けた取組の具体化。

項目		内容	目標
②	業務効率化、事務軽減の取組推進	<ul style="list-style-type: none"> ・既に導入した介護ロボットや記録タブレットについて有効性を検証する。 ・業務の効率化と事務軽減の対策を検討し、具体策を推進する。 	介護・障害支援事業所における業務改善による利用者支援の充実。

(2)地域に応じた福祉サービスの展開

項目		内容	目標
①	ニーズに応える事業運営の改善	利用者ニーズ、地域ニーズを把握し、新しい視点での事業展開を計画、実施する。	モデル事業を選定及び具体的な企画策定。

項目		内容	目標
②	障害福祉サービス共同生活援助の新規開設準備	柿崎区「ふれんどり～ホームうらはま」に続く障害グループホーム2棟目の開設に向けて準備を進める。	令和6年度事業開設。

主な取組・実施事業

法人運営

1	各種会議の実施	<ul style="list-style-type: none">・理事会、評議員会、監事会、評議員選任・解任委員会・専門部会 (総務運営専門部会、地域福祉専門部会、介護サービス事業専門部会)正副専門部会長会議・正副会長会議、本部会議、管理職会議・安全衛生委員会、広報委員会・地域福祉推進委員会(13支所)
2	監査の実施	<ul style="list-style-type: none">・会計監査人監査・監事監査(年2回)・内部監査(年2回2班で実施)
3	規程等の改廃	<ul style="list-style-type: none">・必要時実施
4	苦情受付対応	<ul style="list-style-type: none">・隨時実施
5	役員外部研修	<ul style="list-style-type: none">・計画実施
6	職員内部研修	<ul style="list-style-type: none">・計画実施
7	ホームページの運用管理	<ul style="list-style-type: none">・事業計画書及び資金収支予算書の開示・社協だより掲示・事業報告書及び決算報告書の開示・各種助成事業、表彰、後援会、セミナー、イベント、バナー広告等の案内
8	広報の発行状況管理	<ul style="list-style-type: none">・統一広報社協だよりの発行、支所だより(瓦版)の発行
9	報道機関等との連携、情報提供	<ul style="list-style-type: none">・有線放送電話協会、新潟日報、上越タイムス、上越よみうり、朝日新聞、FM-J他
10	他団体への協力	<ul style="list-style-type: none">・町内会、民生児童委員協議会、地域包括支援センター、老人会、地区振興会、24HTVチャリティー委員会、市内企業他
11	実習生の受け入れ	<ul style="list-style-type: none">・社会福祉士、インターンシップ、教員資格等

地域福祉

1	上越市地域福祉活動計画の策定	平成30年度に策定された上越市地域福祉活動計画が令和4年度で最終年を迎えることから、令和5年度からの計画のため第2次上越市地域福祉活動計画を策定する。
2	地区地域福祉活動計画の策定	「上越市地域福祉活動計画」の推進を図るため、地域自治区ごとの「地区地域福祉活動計画」を地域の方々と共に策定し、その取組をサポートする。 [令和4年度目標:5地域自治区で「地区地域福祉活動計画」を策定]

3	住民福祉会設置事業	地域自治区を範囲として、地域の方々が主体的に独自性のある福祉活動を実践していく「住民福祉会」の設置、普及に努め、活動や運営面の支援を行うことで、地域福祉の推進を図る。 [令和4年度目標:6 地域自治区で設置]
4	地域懇談会事業	地域の方々の福祉課題やニーズを把握し、自分事として共に考える機会として、小地域での懇談会を実施する。 また、社協の活動に関する意見や要望を聴き取り、取組の見直しや整備を図る。 [令和4年度目標:50回実施]
5	福祉教育推進事業	主に小、中学校の児童、生徒に対し、授業の中で「福祉」について学ぶ機会をつくり、子どもの頃から「お互いを認め、支え合う」意識づけを図る。 [令和4年度目標:保育園・小学校・中学校・高校で延べ110回実施]
6	ボランティアセンター事業	市民によるボランティア活動が広がるよう、活動の情報発信を強化とともに、ボランティアコーディネート、ボランティア保険の加入手続き等を行う。 また、事業を通じたボランティアの発掘や「養成」、「育成」講座等の実施、功労者表彰等により、活動者の拡大に努める。 [令和4年度目標:ボランティア講座延べ30回実施]
7	ふれあいいきいきサロン事業	町内会を基本的な範囲として、高齢者などが気軽に集えるサロンの設置を進め、活動や運営をサポートし、地域での自主的な取組を支援する。 [令和4年度目標:新規5カ所設置 サロン交流会を支所ごとに14回実施]
8	“ほっと安心”生活サポーター事業	ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある方やひとり親世帯などで、自分で行うことが困難な作業などを「生活サポーター（登録されている提供会員）」がお手伝いし、生活を支える。 [令和4年度目標:提供会員登録55名]
9	心配ごと相談事業	全支所に相談窓口を設け、市民の困りごとや心配ごとに応じ、関係機関等と連携を図りながら問題の解決に向けた支援を行う。
10	権利擁護推進事業	市民や関係機関、団体等に権利を護るために制度や事業等を知ってもらうため、職員が依頼先に出向いて実施する「権利擁護出前講座」と専門家による「権利擁護ミニ講座」（講座後個別相談にも対応）を開催する。 [令和4年度目標:延べ25回実施]
11	法人後見事業	認知症や知的障害、精神障害等により判断能力がない、もしくは十分でない方の権利を護るために、社協が家庭裁判所からの依頼に応じ、法的代理人として「身上保護」や「財産管理」などを行う。 [令和4年度目標:新規受任数3件]
12	災害対策事業	災害の発生に備え、関係機関、団体等との連携を図り、発災時には「災害ボランティアセンター」を設置・運営し、被災者の復旧・復興支援に努める。 [令和4年度目標:連携推進会議 年4回実施：関係機関等との協働による災害ボランティアセンター設置 運営訓練 年1回実施]
13	上越ワーキングネットワークの支援	市内の障害福祉施設で活動する障害のある方の工賃アップを図るため、作業の共同受注や受給調整等を行う。

介護・障害福祉サービス

1	基本方針	住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるために、地域住民から身近に感じられ、住民の声が届き、福祉課題の早期発見ができる「人・場所」であることを目指す。		
2	居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントやケアプランの質向上を図る。 ・関係機関との連携を図り、サービスの効果的な提供に努める。 		
		事業所名称	休 日	開設日
		上越居宅介護支援事業所	土・日、 国民の祝日、年末年始	H12. 4. 1
		牧・安塚居宅介護支援事業所		H31. 4. 1
		浦川原居宅介護支援事業所		H19. 4. 1
		大潟居宅介護支援事業所		H12. 4. 1
		頸城居宅介護支援事業所		H12. 4. 1
		柿崎・吉川居宅介護支援事業所		H31. 4. 1
		板倉居宅介護支援事業所		H12. 4. 1
		三和居宅介護支援事業所		H12. 4. 1
		名立居宅介護支援事業所		H13. 4. 1
		清里居宅介護支援事業所		R4. 4. 1
3	訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場に立った適切な訪問介護サービスを提供する。 ・医療・看護の連携を図りながら頼りがいのある事業所を目指す。 ・ヘルパーステーション上越南を特別養護老人ホームみねの園内に移転する。 		
		事業所名称	休 日	開設日
		ヘルパーステーション上越	年中無休	H5. 4. 1
		ヘルパーステーション安塚		H6. 4. 1
		ヘルパーステーション柿崎		H25. 8. 1
		ヘルパーステーション上越北		H6. 9. 1
		ヘルパーステーション上越南		S63. 4. 1
4	通所介護事業	利用者の個別ニーズに応える弾力的な事業運営を行い、サービスの向上に取組む。		
		事業所名称	休 日	定 員
		デイサービスセンター謙信高志の里	年中無休	30
		デイホームやちは	年中無休	18
		デイホーム有田	年中無休	18
		デイサービスセンター安塚やすらぎ荘	年中無休	33
		浦川原高齢者生活福祉センター	年中無休	25
		牧デイサービスセンター やまゆりの家	土・日曜日	18
		大潟デイサービスセンター やすらぎの家	日曜日	30
		頸城デイサービスセンター 無憂の里	土・日曜日	33

		事業所名称	休 日	定 員	開設日
4	通所介護事業	頸城デイサービスセンター はながさの里	金・日曜日	20	H4. 4. 1
		くびきの里デイサービスセンタ ー	年中無休	35	H16. 4. 1
		吉川デイサービスセンター あじさいの家	年中無休	18	H4. 4. 1
		いこいの里あさひデイサービス センター	年中無休	30	H22. 6. 7
		みやじまの里第一清心（一般型）	日曜日	30	H3. 6. 1
		みやじまの里第一清心 (認知症対応型)	日曜日	10	H8. 11. 1
		みやじまの里第二清心荘	土曜日	25	H11. 8. 1
		三和デイサービスセンター 美杉の里	休止	18	H5. 4. 1
		三和デイサービスセンター すいせんの里	年中無休	30	H12. 4. 1
		名立デイサービスセンター 椿寿苑	日曜日	33	H7. 4. 1
		デイサービスセンター ふれあいの家	日曜日 1月1日	18	R4. 4. 1
5	認知症対応型共 同生活介護（グ ループホーム）	日常生活上の活動支援を行い、利用者一人ひとりの活動、役割を尊重する ことを通して認知症の進行緩和を図る。			
		事業所名称	休 日	定 員	開設日
		グループホーム安塚やすらぎ荘	年中無休	9	H24. 8. 1
6	短期入所生活介 護（ショートス テイ）	在宅での日常生活を尊重し、利用者の生活の質向上と、家族の負担軽減を 図る。 コミュニティナイトホームみやじまの里の営業は、4月、5月は週末(木曜日か ら日曜日まで)の稼働とし、6月からは休止する。 ほほ笑よしかわの里ショートステイは改修工事のため7月から休止する。			
		事業所名称	休 日	定 員	開設日
		ショートステイ謙信 高志の里	年中無休	9	R元. 10. 1
		安塚やすらぎ荘ショ ートステイ	年中無休	19	H24. 8. 1
		くびきの里ショート ステイ	年中無休	12	H16. 4. 1
		ほほ笑よしかわの里 ショートステイ	年中無休	10	H15. 7. 1
		いこいの里あさひ ショートステイ	年中無休	14	H22. 6. 7
		コミュニティナイト ホームみやじまの里	年中無休	8	H11. 8. 1
空床利用型障 害福祉サービ ス(短期入所)					

6	短期入所生活介護（ショートステイ）	事業所名称	休 日	定 員	開設日	空床利用型障害福祉サービス(短期入所)		
		コミュニティナイトホームすいせんの里	年中無休	8	H12. 4. 1	実施		
7	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームみねの園	年中無休	18	R4. 4. 1	該当なし		
		入浴、排泄、食事等の介護、相談援助、機能訓練、健康管理等の施設入所サービスにより、利用者の能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう支援する。						
8	地域包括支援センター	事業所名称	休 日	定 員	開設日			
		特別養護老人ホームほほ笑よしかわの里	年中無休	30	H15. 7. 1			
9	障害者就労支援事業所	特別養護老人ホームみねの園	年中無休	30	R4. 4. 1			
		'地域包括ケアシステム'のコーディネーターとして地域にある様々な資源、支援を、包括的・機能的につなげ、地域生活を支援する。						
10	障害者相談支援事業	事業所名称	休 日	定 員	開設日			
		浦川原地域包括支援センター			H18. 4. 1			
11	共同生活援助（障害者グループホーム）	安塙地域包括支援センター（サテライト）			H30. 4. 1			
		大島地域包括支援センター（サテライト）			H30. 4. 1			
10	障害者相談支援事業	牧地域包括支援センター（サテライト）			H30. 4. 1			
		障害のある方の就労、自立に向けて必要な支援を行う。活用できる情報の提供、サービスの利用支援や調整等を行う。						
11	共同生活援助（障害者グループホーム）	事業所名称/事業名	休 日	定 員	開設日			
		ふれんどり～ミルはまなす	土・日、国民の祝日、年末・年始	一	一			
9	障害者就労支援事業所	就労移行支援事業		3	H23. 4. 1			
		就労継続支援B型事業		37	H23. 4. 1			
10	障害者相談支援事業	就労定着支援事業		なし	H30. 10. 1			
		板倉ふれあい工房	土・日、国民の祝日、年末・年始	一	一			
11	共同生活援助（障害者グループホーム）	就労移行支援事業		4	H26. 4. 1			
		就労継続支援B型事業		15	H26. 4. 1			
一人ひとりの適性に合わせた自立支援を目指し、地域とともに社会の中で主体的に生活を送るための支援を行う。								
地域において自立した生活が送れるように、一人ひとりの能力・適性に合わせた日常生活を支援する。								
11	共同生活援助（障害者グループホーム）	事業所名称	休 日	定 員	開設日			
		柿崎ふれんどり～ホームうらはま	年中無休	5	H31. 4. 1			

12	生活介護事業	入浴、排泄、食事等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供により利用者の日常生活、社会生活を支援する。			
		事業所名称	休日	定員	開設日
		ふれんどり～ライフよしかわ	土・日、国民の祝日、年末・年始	20	R3. 4. 1

受託事業

1. 新潟県社会福祉協議会 受託事業

1	日常生活自立支援事業	認知症や知的障害、精神障害等により、判断能力に不安がある方が安心して生活できるよう、ご本人との契約により、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を行う。
2	生活福祉資金貸付事業	低所得世帯、障がいのある方や介護を必要とする高齢者の世帯に対し、各種の資金貸付を行い、生活の安定と自立更生を図る。

2. 新潟県 受託事業

1	障害者地域生活支援センター事業	障害者及び障害児の地域生活を支援するため、地域で対応困難な事例に係る助言及び地域のネットワーク構築に向けて相談支援を行うとともに、県全域における相談支援体制に関する相談支援体制に関する協議等を行い、障害者等の福祉の増進を図る。
---	-----------------	---

3. 上越市 受託事業

1	手話通訳者等派遣事業	聴覚に障害のある方々のコミュニケーション支援のため、手話通訳士、手話通訳者、要約筆記者、要約奉仕員を派遣し、生活の支援や社会参加の促進を図る。
2	手話養成事業等	視覚や聴覚に障害のある方々に対するコミュニケーション支援の担い手となる手話通訳者等を養成するため、手話奉仕員養成講座や要約筆記講習会、点字講習会、音声訳講習会等を開催する。
3	視覚、聴覚障害者生活訓練事業	視覚や聴覚に障害のある方が生活を送る上で必要な知識や技術、制度等を習得するための生活訓練を実施する。
4	福祉相談	市役所の福祉総合窓口センターに手話通訳士もしくは手話通訳者を配置し、ろう者への対応を含めた市民からの相談対応や各種申請の受付等の窓口業務を行う。
5	地域支え合い事業	高齢者の介護予防、地域における自立した生活、心身の健康の保持を図るために必要な支援を行う。 地域において介護予防の重要性を啓発するとともに、協議体会議、すこやかサロン、介護予防教室等を実施し、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組む。
6	高齢者健康支援訪問事業	生活習慣病等などが今後重症化し、重い介護状態になるリスクが高い高齢者に対し、自宅を訪問し介護予防及び生活改善・向上を重点的に図る。

7	上越市産前・産後ヘルパー派遣事業	母親が産前又は産後に体調不良等のために家事又は育児を行うことが困難な世帯にホームヘルパーを派遣し、援助を行うことにより、母親の心身の健康維持を目的にする。																														
8	地域包括支援センター運営事業	地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。																														
9	地域生活支援拠点等強化事業	地域全体で障害のある人を支える体制の強化を図るため、市内4法人が地域生活支援拠点として連携し、相談業務への支援、緊急時受け入れ体制の強化、地域の体制づくり等を促進する。																														
10	高齢者生活支援ハウス事業	高齢等のため独立して在宅で生活することに不安のあるひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象に住まいを提供し、相談援助や緊急時の対応を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所名称</th> <th>定 員</th> <th>1人部屋</th> <th>2人部屋</th> <th>指定管理期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浦川原生活支援ハウス</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>R4年～R8年度</td> </tr> <tr> <td>頸城生活支援ハウス</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>R4年～R8年度</td> </tr> <tr> <td>板倉生活支援ハウス</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>R4年～R8年度</td> </tr> <tr> <td>名立生活支援ハウス</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>R4年～R8年度</td> </tr> <tr> <td>清里生活支援ハウス</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>R4年～R8年度</td> </tr> </tbody> </table>	事業所名称	定 員	1人部屋	2人部屋	指定管理期間	浦川原生活支援ハウス	10	6	2	R4年～R8年度	頸城生活支援ハウス	10	8	1	R4年～R8年度	板倉生活支援ハウス	12	8	2	R4年～R8年度	名立生活支援ハウス	15	11	2	R4年～R8年度	清里生活支援ハウス	14	12	2	R4年～R8年度
事業所名称	定 員	1人部屋	2人部屋	指定管理期間																												
浦川原生活支援ハウス	10	6	2	R4年～R8年度																												
頸城生活支援ハウス	10	8	1	R4年～R8年度																												
板倉生活支援ハウス	12	8	2	R4年～R8年度																												
名立生活支援ハウス	15	11	2	R4年～R8年度																												
清里生活支援ハウス	14	12	2	R4年～R8年度																												
11	菱の里	やすづか学園に通う子ども達が基本的な生活習慣を身につけ、集団生活のルールやマナー、仲間との人間関係づくりなど、お互いの考え方、気持ちの理解や生き方を学ぶ生活の場(寮)として運営する。																														

4. 上越市 補助事業

1	春日山荘	高齢者の健康増進、教養の向上等を図るため囲碁、将棋、コーラス、健康体操など趣味の教室を開催する。
2	やすづか学園	不登校相談室の開設による個別相談対応等により、不安の解消や状況の改善に向けた支援を行い、不登校や引きこもりで悩む子どもたちの「心の居場所」として運営する。